

二子山西岳中央稜 夏の陣

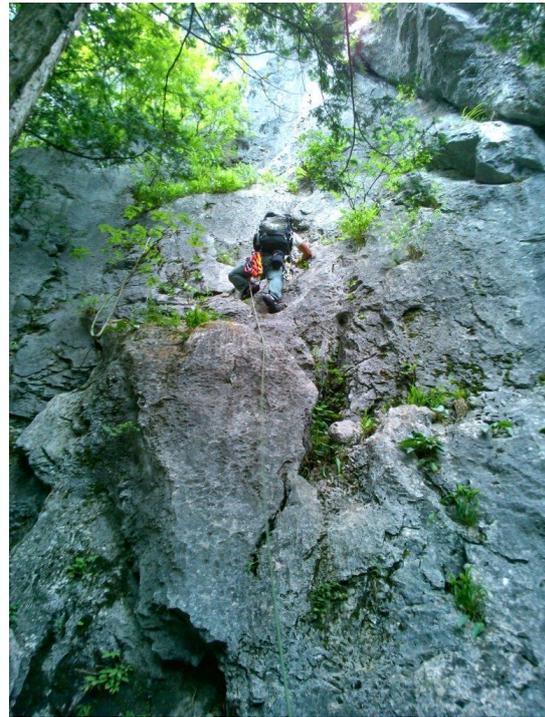
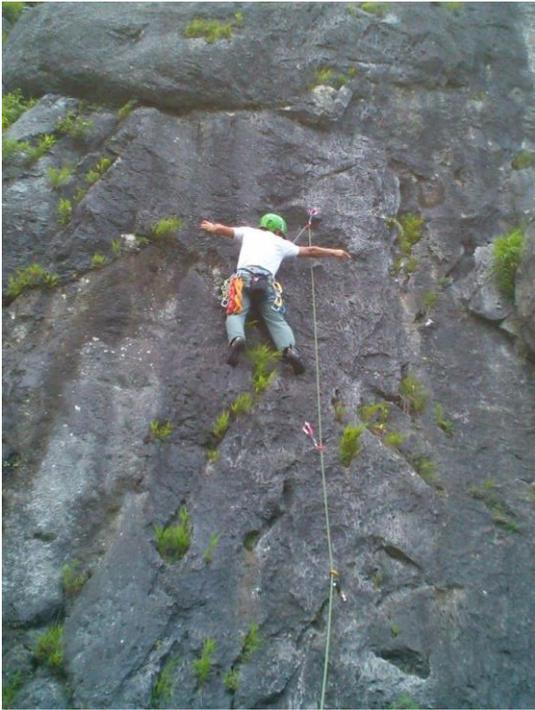
日 程 : 2016年7月3日(日)

メンバー : 3名(カト(L)、クニ、F)

報 告 : カト

写 真 : 「中央稜」1ピッチ目をリードするカトさん(右)

「スーパーダジャン」2ピッチ目(5.10c)をリードするカトさん(左)



初夏や初秋に何度か行きましたが、7月の、それも「猛暑日」の予報に行くのは初めて。Fさんに声をかけられ、日和田山でのんびり登るつもりでしたが、クニさんの二子山西岳中央稜のフリーマルチ、スーパーダジャンをちょっとやっちゃう?的な提案を見て、火が点きました。

俄然やる気が出て当日。待ち合わせ場所でクニさんの車に荷物を積んでいざ。日差しが強すぎるのも困りものですが、雨は石灰岩の岩場にはもっと厄介で、曇天の国道299号を走っていると、小鹿野町に入ったあたりでパラパラ。勘弁してよ〜!心中穏やかならぬまま股峠裏の駐車場へ。どうやらにわか雨だったみたいでほっとしながら道具の選定。

何度も登っているルートだから特に不安はありませんが、それは外岩。適度な緊張感を持ちながら取り付きへ。時期的なものか、おそらく一番乗り。あとから来るパーティーの気配も感じないので、ゆっくり楽しめそうな予感。今回は自分がリーダーという事で、全ピッチをトップで登ります。

1ピッチ目。ホールドは豊富なんですが、途中からテラス方面へ90°ほど屈曲するルートで、意外と露出感があってメンタルのアップにはいいですね。

2ピッチ目を登る前に、テラスから中央を登るスーパータジヤンの2ピッチ目(5.10c)をちょこっとやりました。見上げるとハンガーボルトが適度な間隔でまっすぐ上に伸びています。上の方はハングしてます。はじめてなので特に慎重に、クイックドロを順に掛けてロープを伸ばして行きます。4クリップほどして、いよいよハング越えです。そおっと手を伸ばして探るとカバが掴めました。これでクリア。難しいのはもっと上の方かな？続きはまた涼くなってから。しっかりしたハンガーボルトに環付カラビナを一枚掛けてロープを通し、「OK！ 降りしてください」とコール。途中のクイックドロを回収しながらローダウン。そのまま登ればオンサイト？だったかも。

気を取り直して、正規ルート of 2ピッチ目へ。サクッと登り2ピッチ目の終了点へ、ここから慎重にトラバースして残置したカラビナを回収。再度トラバースして戻ります。ようやくセルフビレイを取りビレイデバイスをセット、後続のお二人を迎えました。

そしてハイライトの3ピッチ目。おや？なんかお日様が出てきたんじゃないですか？こりゃ急がないと暑くなっちゃいますね。何度も登っているのに高度感、露出感共に程よい緊張感を醸し出してくれます。核心部は今回もレイバック。ザックがクラックの縁に当たらないように、足の張り方を工夫してクリア。あとはジャングルジム。大テラスの樹で終了点を作り、セルフビレイを取ってビレイデバイスをセット。セカンドのFさんに声をかけ、ロープを手繰ります。核心部で「アップ！アップ！」の音が響きます。わかってますよ。一生懸命引っ張ってますよ。Fさん、70代の生き様を見せてください(笑)。数年前はリードで登ったじゃないですか。なんとか核心をAOで抜けて無事登りきりました。お疲れ様です！（後日聞いたところによると、先月膝を痛めて今も右足が踏ん張れないとのこと）

クニさんは、核心を正対で難なく抜けて大テラスへ。さすがです。ここでちょっと休憩。完全に太陽がギラギラ本領発揮しています。先のルートを見上げますが、当然木陰はありません。行動食を食べながら相談の結果、暑いのでクライミングはここで終了することにしました。大テラスから岸壁に沿って薄い踏み跡を股峠へ向かいます。急勾配の箇所もあり落石を起こすと、祠エリアに落としてしまいますので慎重に行きます。やがて一般登山道に出ました。

二子山はちょっとアプローチに時間がかかりますが、グレード、内容共にちょうど良く、いいルートだと思います。秋には是非スーパータジヤンを登りきりたいです。やっぱり外はいいですね。